

平成30年6月12日
J R A 報 道 室

お 知 ら せ

平成30年度顕彰馬の選定について

平成30年度顕彰馬につきまして、下記のとおりロードカナロア号が選定されましたのでお知らせいたします。なお、顕彰馬選定に伴う記念競走および各種イベント等につきましては、後日改めてお知らせいたします。

記

【顕彰馬】

ロードカナロア号

《記者投票結果 得票数156票（得票率82.1%）》

ロードカナロア号

牡・鹿毛・2008（平成20）年3月11日生

血統：父 キングカメハメハ 母 レディブラッサム

馬主：株式会社ロードホースクラブ

調教師：安田 隆行（栗東）

生産者：ケイアイファーム

成績：19戦13勝（うち海外2戦2勝）

2012（平成24）年 スプリンターズステークス、香港スプリント

2013（平成25）年 高松宮記念、安田記念、

スプリンターズステークス、香港スプリント

<関係者コメント>

株式会社ロードホースクラブ（代表：中村伊三美氏）

「この度は、ロードカナロアが顕彰馬に選出され、大変嬉しく思っております。会員様、安田隆行調教師はじめ、本馬に携わっていただいた全ての関係者の皆様、応援していただいたファンの皆様と共に喜びを分かち合いたいと思います。

ロードカナロアは、種牡馬としてもファーストシーズンリーディングサイアーを獲得し、産駒の活躍にも益々期待が高まっています。近い将来、今度は、ロードカナロアの産駒が栄誉ある顕彰馬に選ばれることを願っております。

引き続き、産駒へのご声援を賜りますよう宜しくお願いいたします。この度はありがとうございました。」

安田隆行調教師

「この度は、ロードカナロアを顕彰馬に選出していただき、とても名誉なことで大変光栄に存じます。

記憶に残るレースは色々ありますが、特に印象深いのは香港スプリントの連覇です。日本馬にとって凱旋門賞を勝つよりも難しいと言われていたレースで、表記された馬名「龍王」に恥じない圧倒的な強さを見せてくれました。

調教師生活を通してオーナーからご信頼を頂き、厩舎スタッフが一つの目標に向かっていった結果、このような成績が残せたものと考えています。

また、種牡馬になってもG I勝ち馬を出していますし、これからも元気で活躍してくれることを願っています。」

◆ 選定基準等

投票者数（記者190名）の4分の3以上（143票以上）の票を得た馬

※記者1人あたり最大4頭まで投票可

◆ 選定対象馬

平成9年4月1日から平成29年3月31日の間に競走馬登録を抹消した馬

※現役馬および競走馬登録抹消1年未満の馬は選考対象外

◆ 得票内訳

別表のとおり

平成30年 顕彰馬記者投票 得票数

馬名	得票数	有効投票数	得票率
ロードカナロア	156	190	82.1%
ブエナビスタ	95	190	50.0%
スペシャルウィーク	89	190	46.8%
モーリス	87	190	45.8%
ゴールドシップ	44	190	23.2%
ヴィクトワールピサ	42	190	22.1%
ダイワスカーレット	25	190	13.2%
アグネスデジタル	14	190	7.4%
キングカメハメハ	14	190	7.4%
ホッコータルマエ	9	190	4.7%
サイレンススズカ	6	190	3.2%
ジャスタウェイ	6	190	3.2%
ステイゴールド	6	190	3.2%
エアグルーヴ	5	190	2.6%
グラスワンダー	5	190	2.6%
メジロドーベル	4	190	2.1%
アパパネ	3	190	1.6%
クロフネ	2	190	1.1%
マヤノトップガン	2	190	1.1%
ストレイトガール	1	190	0.5%
ダイワメジャー	1	190	0.5%

投票者数 190名

※記者1人あたり最大4頭の投票を実施

※選出には投票者数の4分の3(75%)=143票以上の得票が必要

顕彰馬一覧

番号	馬名	性	生没年	選定年度	競走成績	主な勝鞍
1	クモハタ	牡	昭和11～28年	昭和59年	21戦9勝	東京優駿
2	セントライト	牡	昭和13～40年	昭和59年	12戦9勝	横浜農林省賞典四歳呼馬（皐月賞）、東京優駿、 京都農林省賞典四歳呼馬（菊花賞）
3	クリフジ	牝	昭和15～39年	昭和59年	11戦11勝	東京優駿、阪神優駿牝馬（オークス）、 京都農商省賞典四歳呼馬（菊花賞）
4	トキツカゼ	牝	昭和19～41年	昭和59年	30戦11勝	農林省賞典（皐月賞）、優駿牝馬
5	トサミドリ	牡	昭和21～45年	昭和59年	31戦21勝	皐月賞、菊花賞
6	トキノミノル	牡	昭和23～26年	昭和59年	10戦10勝	朝日杯3歳ステークス、皐月賞、東京優駿
7	メイヂヒカリ	牡	昭和27～55年	平成2年	21戦16勝	朝日杯3歳ステークス、菊花賞、天皇賞（春）、 中山グランプリ（有馬記念）
8	ハクチカラ	牡	昭和28～54年	昭和59年	32戦20勝 海外 17戦1勝	東京優駿、天皇賞（秋）、有馬記念、 ワシントン・バースデー・ハンデ
9	セイユウ	牡	昭和29～52年	昭和60年	49戦26勝 うちウチワ戦24戦5勝	七夕賞、福島記念、セントライト記念（いずれもウチワ戦競走）
10	コダマ	牡	昭和32～51年	平成2年	17戦12勝	阪神3歳ステークス、皐月賞、東京優駿、宝塚記念
11	シンザン	牡	昭和36～平成8年	昭和59年	19戦15勝	皐月賞、東京優駿、菊花賞、宝塚記念、 天皇賞（秋）、有馬記念
12	スピードシンボリ	牡	昭和38～平成元年	平成2年	39戦17勝 海外 4戦0勝	天皇賞（春）、有馬記念（2回）、宝塚記念
13	タケシバオー	牡	昭和40～平成4年	平成16年	27戦16勝 海外 2戦0勝	朝日杯3歳ステークス、天皇賞（春）、 スプリンターズステークス
14	グランドマーチス	牡	昭和44～59年	昭和60年	63戦23勝 うち障害39戦19勝	中山大障害（4回）、京都大障害（3回）
15	ハイセイコー	牡	昭和45～平成12年	昭和59年	地方 6戦6勝 中央 16戦7勝	地方：青雲賞 中央：皐月賞、宝塚記念
16	トウショウボーイ	牡	昭和48～平成4年	昭和59年	15戦10勝	皐月賞、有馬記念、宝塚記念
17	テンポイント	牡	昭和48～53年	平成2年	18戦11勝	阪神3歳ステークス、天皇賞（春）、有馬記念
18	マルゼンスキー	牡	昭和49～平成9年	平成2年	8戦8勝	朝日杯3歳ステークス
19	ミスターシービー	牡	昭和55～平成12年	昭和61年	15戦8勝	皐月賞、東京優駿、菊花賞、天皇賞（秋）
20	シンボリルドルフ	牡	昭和56～平成23年	昭和62年	15戦13勝 海外 1戦0勝	皐月賞、東京優駿、菊花賞、有馬記念（2回）、 天皇賞（春）、ジャパンカップ
21	メジロラモーヌ	牝	昭和58～平成17年	昭和62年	12戦9勝	桜花賞、優駿牝馬、エリザベス女王杯
22	オグリキャップ	牡	昭和60～平成22年	平成3年	地方 12戦10勝 中央 20戦12勝	有馬記念（2回）、マイルチャンピオンシップ、安田記念
23	メジロマックイーオン	牡	昭和62～平成18年	平成6年	21戦12勝	菊花賞、天皇賞（春）（2回）、宝塚記念
24	トウカイテイオー	牡	昭和63～平成25年	平成7年	12戦9勝	皐月賞、東京優駿、ジャパンカップ、有馬記念
25	ナリタブライアン	牡	平成3～10年	平成9年	21戦12勝	朝日杯3歳ステークス、皐月賞、東京優駿、 菊花賞、有馬記念
26	タイキシャトル	牡	平成6年～	平成11年	12戦10勝 海外 1戦1勝	マイルチャンピオンシップ（2回）、スプリンターズS、 安田記念、ジャック・ル・マロワ賞 [仏]
27	エルコンドルパサー	牡	平成7～14年	平成26年	7戦6勝 海外 4戦2勝	NHKマイルカップ、ジャパンカップ、 サンクルー大賞 [仏]
28	テイエムオペラオー	牡	平成8～30年	平成16年	26戦14勝	皐月賞、天皇賞（春）（2回）、宝塚記念、 天皇賞（秋）、ジャパンカップ、有馬記念
29	ディーピンパクト	牡	平成14年～	平成20年	13戦12勝 海外 1戦0勝	皐月賞、東京優駿、菊花賞、天皇賞（春）、 宝塚記念、ジャパンカップ、有馬記念
30	ウオッカ	牝	平成16年～	平成23年	22戦10勝 海外 4戦0勝	阪神ジュベナイルフィリーズ、東京優駿、安田記念（2回）、 天皇賞（秋）、ヴィクトリアマイル、ジャパンカップ
31	オルフェーヴル	牡	平成20年～	平成27年	17戦10勝 海外 4戦2勝	皐月賞、東京優駿、菊花賞、有馬記念（2回）、 宝塚記念
32	ジェンティルドンナ	牝	平成21年～	平成28年	17戦9勝 海外 2戦1勝	桜花賞、優駿牝馬、秋華賞、ジャパンカップ（2回）、 有馬記念、ドバイシーマクラシック [UAE]
33	★ロードカナロア	牡	平成20年～	平成30年	17戦11勝 海外 2戦2勝	スプリンターズステークス（2回）、高松宮記念、 安田記念、香港スプリント [香港]（2回）

★は本年度選定馬